

西内野コミュニティだより 2号

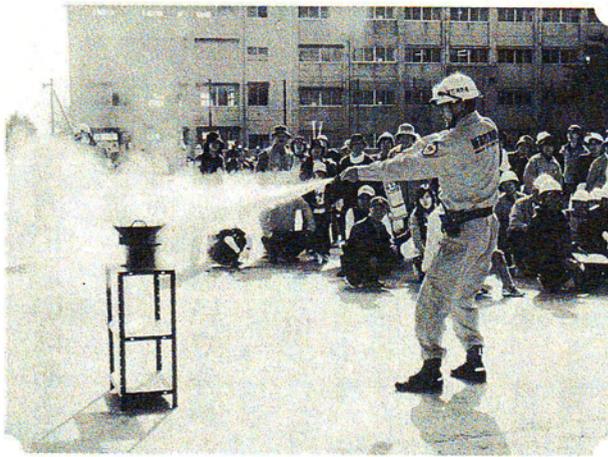
発行／西内野コミュニティ協議会 編集委員 2008. 3



平成19年度 西内野地区自主防災訓練 ご苦労様でした



※ 参加風景



※ 初期消火訓練



※ 炊き出担当スタッフ

西内野地区住民の防災意識の普及と高揚並びに防災資材・機材の知識及び取り扱い等の取得を目的として、平成十九年十月二十八日(日)午前九時より西内野小学校グラウンドに於て西消防署員・地区消防団員の協力のもとに開始されました。

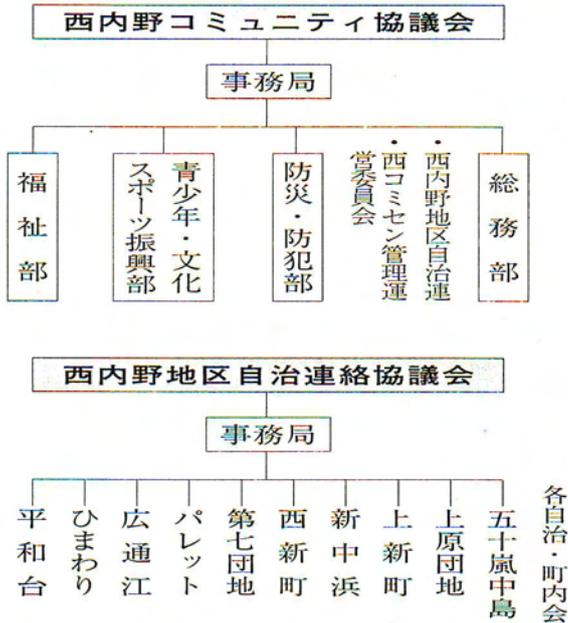
前日は降雨も激しくグラウンドでの実施は諦めていたのですが、当日は朝から快晴に恵まれて急遽グラウンドで実施することとなり、晴天の下、約250名の参加で無事終了することが出来ましたことは、役員一同感謝いたしました次第です。

来年度は、西内野小学校校体育館を耐震対策に伴う工事が夏休み期間を中心に施行される予定で当該地での実施については不透明ではありますが、安心・安全の街づくりの一環としては是非実施したいと考えておりますので、その節には十九年度以上のご参加をお願いして、防災訓練の報告と致します。

西内野コミュニティ協議会と西内野自治会連絡協議会との違いについて

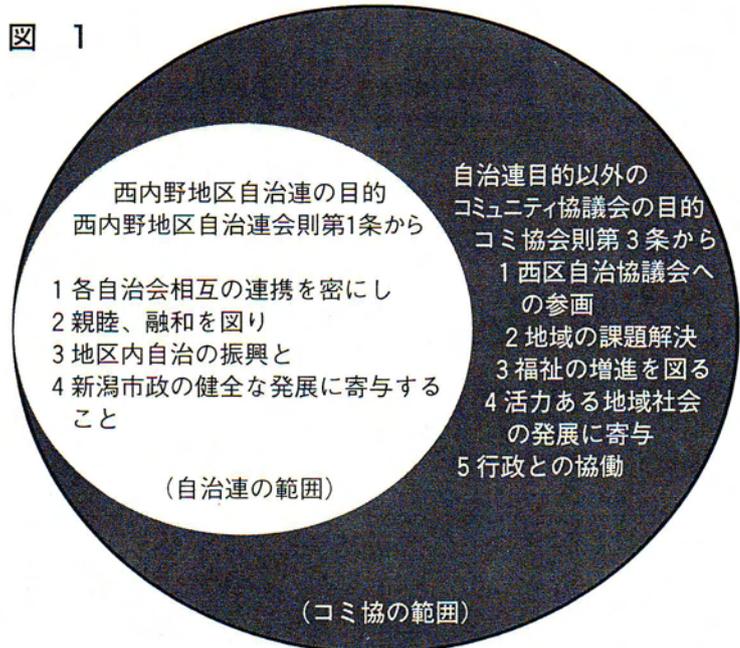
コミュニティ協議会と自治連絡協議会の違いが分からない。との声をよく耳にします。どこが違うのか、その目的と事業・活動を比較してみました。

組織



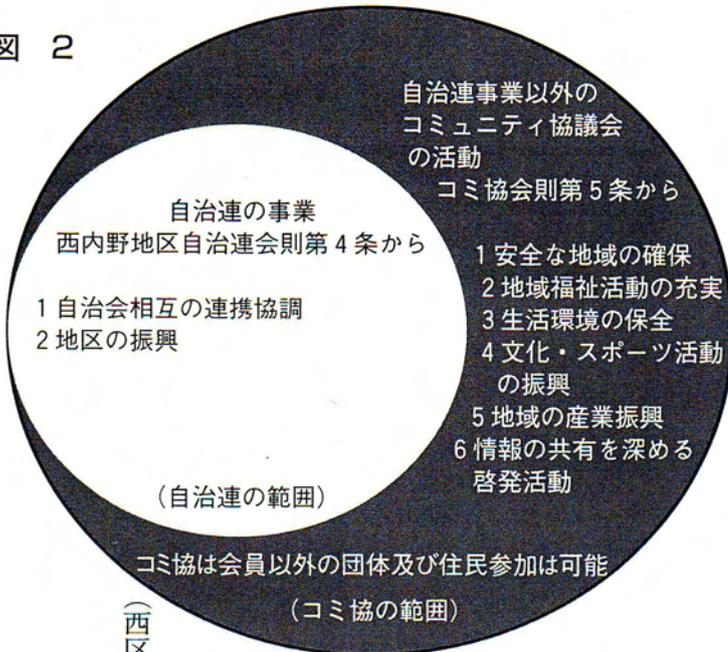
1 両方の会則の上での「目的」の違いについて

図 1



2 両方の 事業・活動 の上で の違いについて

図 2



両方に違いはあるのか

違いはあります。図1の目的の違い、図2の事業・活動の違いで分かることは、範囲がコミュニティ協議会(以下コミ協という)の方が大きいことです。自治連絡協議会(以下自治連という)は、コミ協の中に完全に包含されず。

その結果、自治連の範囲を超えてコミ協は活動します。

十九年度夜間パトロールを自治連の範囲を超えて二ヶ月間実施しました。子供から大人、お年寄りまで、自治連より幅広いコミ協活動に参加できます。

範囲の違いは何をもたらす

いろいろな人の活動参加が可能になります。地域をよくしたい。暮らしやすくしたい。スポーツ活動・福祉活動の盛んな地域にしたい。地域の力を高めたい。そんな時に、自治連の範囲を超え多くの若手、女性、お年寄りの参加協力を得ることが可能になります。

(西区役所西出張所長
青柳)

自治会紹介



パレットタウン西新潟

パレットタウン西新潟は駅のある街というコンセプトの下、平成十六年から住宅建設が始まり、開発が予定通り進めば西内野地区では最大規模な街となります。建設は昨年からは急速に進み、増加の一途であり風景が刻々と変貌しています。街の特徴は中心地に内野西が丘駅があることや、街を東西に二分する広通江川があることです。車道と歩道に段差がないバリアフリー設計など、住む人すべてに優しい街です。周辺環境も、教育施設、病院、公共施設、金融、商業施設など、いかなる施設へのアクセスが良く申し分のない住環境が約束されています。更なる特徴は若い世帯主、いわゆる団塊ジュニアの皆さんが多いことです。昨年の

十月に発足した自治会活動も、この若い人達を中心となって進めてくれることを期待しています。今後は会員相互の融和と交流を深めることを最優先とし、そして安全・安心・快適・便利をキーワードとした街づくりを目指します。
(会長 春日伯栄)

事務局から

西内野コミュニティ協議会は、十九年度事業として、皆さんの協力を頂き

- 一、盆おどり大会
- 一、夜間防犯パトロール
- 一、西内野コミ協だより

を行いました。一方、役員も、西区役所が行った。◇コミュニティ活動の先進地視察に二名 ◇地域の課題発見ワークショップに五名 ◇広報紙作成に二名、などの研修会に積極的に参加をしております。

二月九日には、第四回役員会を開き、十九年度決算見込み、二十年度事業計画、予算(案)、また、この自治会も悩んでいるゴミ出しマナーの問題、生活道路基盤の整備、パレットタウンを含む地域の活性化など課題に取り組みため、環境部会を設ける等の議題がそれぞれ承認され、後日の総会に付されることになりました。

平成二十年度は、別表で示す事業を計画しております。是非多くの皆さんから、参加を頂き、この協議会が地域に根ざした組織として育てていただければと思います。

◎H19年度決算見込

収入		
科目	金額	説明
分配金	108,000円	西地区自治連分配金
繰入金	180,000円	西内野自治連繰出金 ・盆踊り 100,000円 ・自治連報 80,000円
運営助成金	100,000円	コミ協だより 年2回
事業補助金	200,000円	夜間防犯パトロール
雑入	576円	利子 他
(A) 588,576円		

支出		
科目	金額	説明
繰出金	100,000円	西内野盆踊り
会議費	41,080円	・会長懇談会 4,000円 ・パトロール反省会 37,080円
印刷費	113,860円	コミ協だより 2,800部(2回)
備品購入費	23,872円	プリンター購入
消耗品費	245,874円	・パトロール用品 195,804円 ・認証印 他 51,070円
(B) 564,686円		

(A)-(B)=23,890円 次年度繰越

◎H20年度予算(案)

収入		
科目	金額	説明
分配金	110,000円	西地区自治連分配金
繰入金	180,000円	西内野自治連繰出金
運営助成金	100,000円	コミ協たより
事業助成金	400,000円	・夜間防犯パトロール ・子供まつり
雑入	1,000円	
繰越金	23,890円	
814,000円		

支出		
科目	金額	説明
繰出金	100,000円	西内野盆踊り
会議費	50,000円	
印刷費	120,000円	コミ協たより 3,000部×2回
消耗費	450,000円	・パトロール経費 200,000円 ・子どもまつり経費 200,000円 ・その他消耗品 50,000円
事務費	40,000円	
予備費	54,890円	
814,890円		

◎H20年度・事業計画(案)

事業名	時期(予定)
・コミ協だより 年2回発行	9月・3月
・夜間防犯パトロール	7月～9月
・こども祭り	7月
・西内野盆おどり大会	7月第4土曜日
・その他	随時



先進地「瀬崎まちづくり」を視察 市民会議

去る二月六日、西区コミ協関係者三四名で、埼玉県草加市瀬崎町を訪ねました。

「瀬崎まちづくり市民会議」は平成一二年、市のまちづくりモデル地区に手を上げ、地域を調査、研究し、自由討議を重ねて出来た住民参加型の組織です。十年を一つの区切とし、ホップ二年、ステップ三年、ジャンプ五年と位置づけ、じっくりと取り組んでいます。

目標は「快適」・「安心・安全」・「共生」のまちづくり。

おもな活動は、①まちづくり活動のいろいろな場面から、活動テーマをもったグループが出来たこと。ワイワイネットワーク、花と緑の町づくり、防犯パトロール隊、瀬崎こどもクラブ、

市長ととことん話そう会、ごみ減量プロジェクトなど十七グループ。

②住民運動の結果コミセンを瀬崎まちづくり市民会議の拠点とし、運営もまかさ

れた。
③平成十五年に検討委員会をたちあげ、ふれ合い親水緑道づくりを市に提言し実現した。

④毎月一回広報誌「瀬崎まちづくりニュース」を発行。

草加市では、まちづくりのために、始めよう、育てよう、動かそう、ありがとう、にそれぞれ助成金があり羨やましく思いました。

(事務局 佐藤)



災害時要援護者名簿登録に たずさわって

災害時に支援を必要と思われの方の訪問をさせていただいた。ある人から「本当にすぐ来てくれるの、誰が来てくれるの。」と問われた。「守るネットワークの人が」と答えながら、何か空しさを感じた。その時ネットワークが正常に機能するのか、自分自身一員として活動できるのか、不安がつ

カラリンと隣組、廻してちようだい回覧板、助けられたり助けたり」あの時代の心を取りもどせたらと思いました。(民生委員 平野)

編集後記



のる。「災害時要援護者」文字にすると七文字にしか過ぎないが人が一人で背負える重さではない。皆で助け合わなければ重すぎる。現在人の絆と言えば、家族以外では、地域ではなく、職場、父母の会、趣味の会等のような気がする。子供の頃歌った、うる覚えのうたを思い出す、「トントントン

コミ協活動はまだまだ過渡期、地域の実態に合わせた活動が問われています。第二号は自治連とコミ協の活動内容の違いの特集。地域内に新しい自治会も誕生、改めて各自治会紹介を今月から記載します。なお、愛称については応募がなく「西内野コミュニティだより」とします。(K)